



自学のすすめ



R5.12.12

みんなで子どもたちの学習習慣について考えてみませんか？

近年の全国学力・学習状況調査から、岩手県の子どもたちの学力が伸び悩んでいることが明らかになってきています。令和5年度では、調査した小学校6年生（国語・算数）、中学校3年生（国語・数学・英語）の中で、岩手県の学力が全国平均を上回ったのは小学校6年生の国語のみ、他の教科は全て全国平均を下回っていました。

では、八幡平市の子どもたちの学力の実態はどうでしょう。実は八幡平市の学力調査結果は、その岩手県と同等か、教科によっては平均を下回っているのです。もちろん平均を上回っている子どもたちもおりますが、全体としてはまだまだ伸びしろがある状況です。

これから未来に向かう子どもたちがしっかりと学力を身に付け、将来希望する仕事や夢に立ち向かうことができるようにしてあげたいものです。夢を支える学力は学校と家庭が一緒になって身に付けさせていかなければなりません。そのために八幡平市の子どもたちの望ましい学習習慣（家庭学習）のあり方について学校、家庭、地域全体で一緒に考えていきましょう。



なぜ、今、学習習慣（家庭学習）なのですか？



どうして学校でも家でも勉強しないといけないの？

「いくつになっても、よりよく生きる可能性を広げるため」ということができます。大人になっても仕事や家庭生活をよりよくするためには勉強が必要です。**小学校や中学校で学習習慣を身に付けることは一生の宝物**になります。



勉強は家でしなくても学校ですれば十分なのでは？

学校で**学んだことは、使ってこそ力**になります。家庭学習で繰り返し取り組むことで定着し、身に付いていきます。そのためにも、家庭での**学習習慣を身に付けることが重要**です。これは、**自分から学びに向かう力（自学の力）を養うこと**にもつながります。



家庭学習は何をどれくらいの時間するとよいのですか？



家庭学習の時間の目安はあるのかな？

家庭での学習時間の目安は学年により異なりますが、一般的には小学生の場合は（学年×10分）以上を基本とし、プラス10分するなど、子どもの実態に合わせて学校で設定しています。

中学生の場合は90～120分以上とされています。

取り組む時間も大事ですが、どのような内容に取り組んだか（質）も大事です。



宿題さえやっていれば、時間や内容は気にする必要はないのでは？

宿題は、学校から出される定着のために最低限取り組んで欲しい内容です。この他に、自主学習（一人勉強等）を行うことで、自分に必要な学習やもっとやってみたい学習に取り組むことができます。子どもが自主的に取り組むことで、計画性や主体性も高めることができます。時間は取組の目安であり目標です。



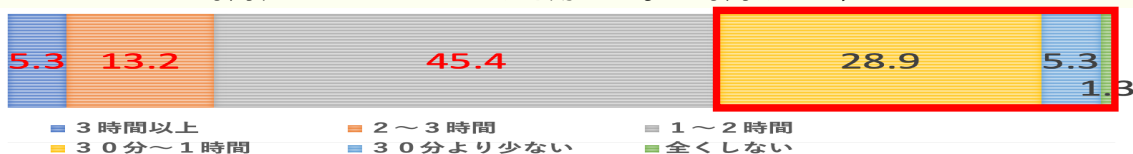
どれくらい家庭学習をしていますか？ <平日に学校以外で学習する時間が短いようです>



小学生は平日にどれくらい勉強していますか？

これは八幡平市の小学校6年生の調査結果です。（R5全国学調質問紙より）

学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）



6年生の目標時間の60分に達していない子が約3割もいます。



中学生は平日にどれくらい勉強していますか？

これは八幡平市の中学校3年生の調査結果です。（R5全国学調質問紙より）



3年生の目標時間の90～120分以上に達していない子が5割以上もいます。



家庭学習の時間が短くなる要因は？ ＜動画・SNSの視聴時間が長いようです＞



小学生は平日にどれくらいスマートフォンを使っていますか？

これは八幡平市の小学6年生の調査結果です。（R4全国学調質問紙より）

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



2時間以上の子が3～4割もいます。SNS・動画の視聴が習慣化しています。
* 2時間以上ゲームをする子の割合はこれよりも多く、約6割です。



中学生は平日にどれくらいスマートフォンを使っていますか？

これは八幡平市の中学校3年生の調査結果です。（R4全国学調質問紙より）



小学生に比べSNS・動画の視聴で2時間以上の割合がぐっと増えます。家庭で過ごす時間も限られているので、学習の時間が確保できない要因となっています。



子どもたちを取り巻く環境は変化しているのですか？ ＜スマートフォン・インターネットが身近になっています＞



どのように変化しているの？

1つはスマートフォンの所持率です。「令和4年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」によると、子どもたちのスマートフォン所持率は年々増加し、小学生で64%、中学生で91%となっています。この他にも、タブレットやパソコンなどで動画視聴・SNSにつながることでより手軽に日常的になっています。



スマートフォンを持ったり、インターネットをしたりすることは悪いことなの？

スマートフォンやインターネットは生活を便利にしたり、豊かにしたりするために必要なツールと言えます。しかし、子ども自身が、自分で使用を管理できるようになるまでは、見守りが必要です。長時間利用やそれに伴う影響が八幡平市全体でも問題となってきています。学習以外での使用は長くても1時間以内を目安にすることが望ましいとされています。



子どもの学習習慣について振り返ってみましょう。

お子さんと一緒にチェックしてみよう。Yes・Noそれぞれいくつになるでしょう？

家庭学習について

① 家庭学習に毎日（継続的に）取り組んでいますか？
（ Yes / No ）

② 家庭学習の時間は、学年の目安時間に届いていますか？
（ Yes / No ）

③ 毎日の家庭学習で、どんな内容をどれくらいやるか目標を決めて取り組んでいますか？
（ Yes / No ）

④ 自分の興味のあることや自分に必要な内容について家庭学習で取り組んでいますか？
（ Yes / No ）

Yes
の数

個

（のびしろ）
No(bisiro)
の数

個

メディア機器の使用について

① 学習以外でのメディア機器（スマートフォン・タブレットやゲームなど）の使用時間は1時間以内となっていますか？
（ Yes / No ）

② メディア機器（スマートフォン・タブレットやゲームなど）の使用について、家庭でのルール・約束が決まっていますか？
☐ 使用時間 （ Yes / No ）
☐ 使用場所 （ Yes / No ）
☐ 使用内容 （ Yes / No ）
☐ 課金をしない
（ Yes / No ）

③ 「ながら勉強」にならないように、家庭学習中は、メディア機器を手の届かない場所に置いていますか？
（ Yes / No ）

「のびしろ」の数だけ、これからの取組でよくなるよ！



保護者アンケートからは、このような声が届いています

宿題と一人勉強は違うんですか？

スマートフォンが気になって勉強に集中できないのですが・・・

次号からは、皆さんの疑問の声にできるだけお答えしていきます。

計画的にと言われても計画的に行う方法が分かりません。

勉強だけでなく、手伝いや家の仕事も大事だと思うのですが・・・



このリーフレットの内容について、ご意見、ご感想、取り上げて欲しいこと等があれば声をお寄せください。

一八幡平市教育委員会

教育指導課 TEL 0195-74-2111

